

文化芸術に関する市民意識調査
調査結果報告書

概要版

令和3年3月
鹿児島市

I 調査の概要

1 調査の目的

鹿児島市の第2期文化薫る地域の魅力づくりプラン等に基づく文化芸術の推進に向けた取組が進む中、市民意識の実態を把握するとともに、令和3年度に行う文化芸術推進基本計画策定の基礎資料とするためアンケート調査を実施した。

2 調査方法

調査区域：鹿児島市内全域

調査対象：鹿児島市に居住する16歳以上の市民3,000人（男女各1,500人 無作為抽出）

調査方法：郵送による配布及び郵送またはWEB方式による回収

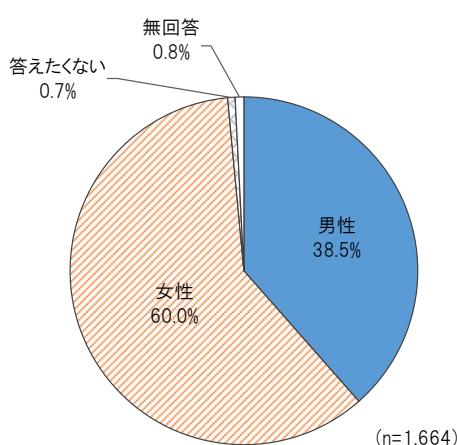
調査期間：令和2年9月11日（金）～令和2年9月30日（水）

回収結果：

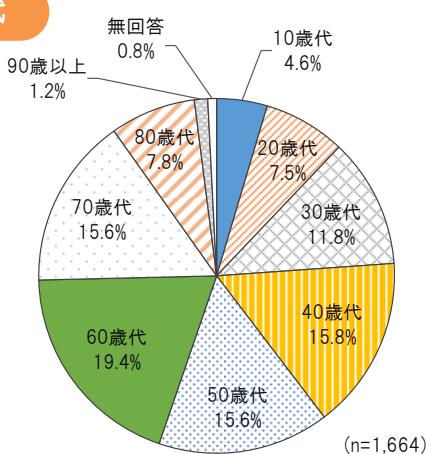
調査方法	配布数	有効回答数	回収率
郵送	3,000人	1,227人	40.9%
WEB	—	437人	14.6%
合計	3,000人	1,664人	55.5%

3 回答者の属性

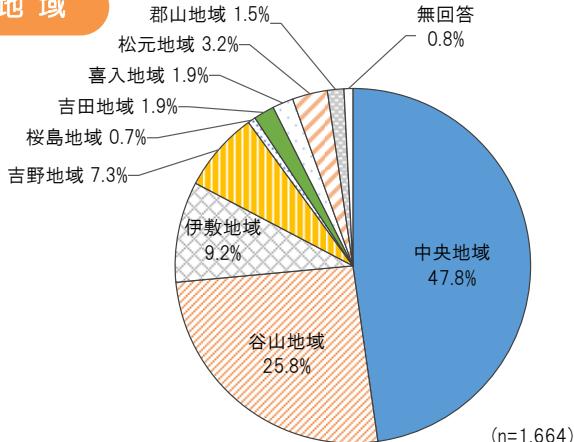
性別



年代



地域



【注意事項】

- ① 比率はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入している。このため、百分比の合計が100%にならない場合がある。
- ② 複数回答の設問は、百分比の合計は100%を超える場合がある。
- ③ グラフ中における「n」は、各設問の回答者数（サンプル数）のことである。

II 調査結果

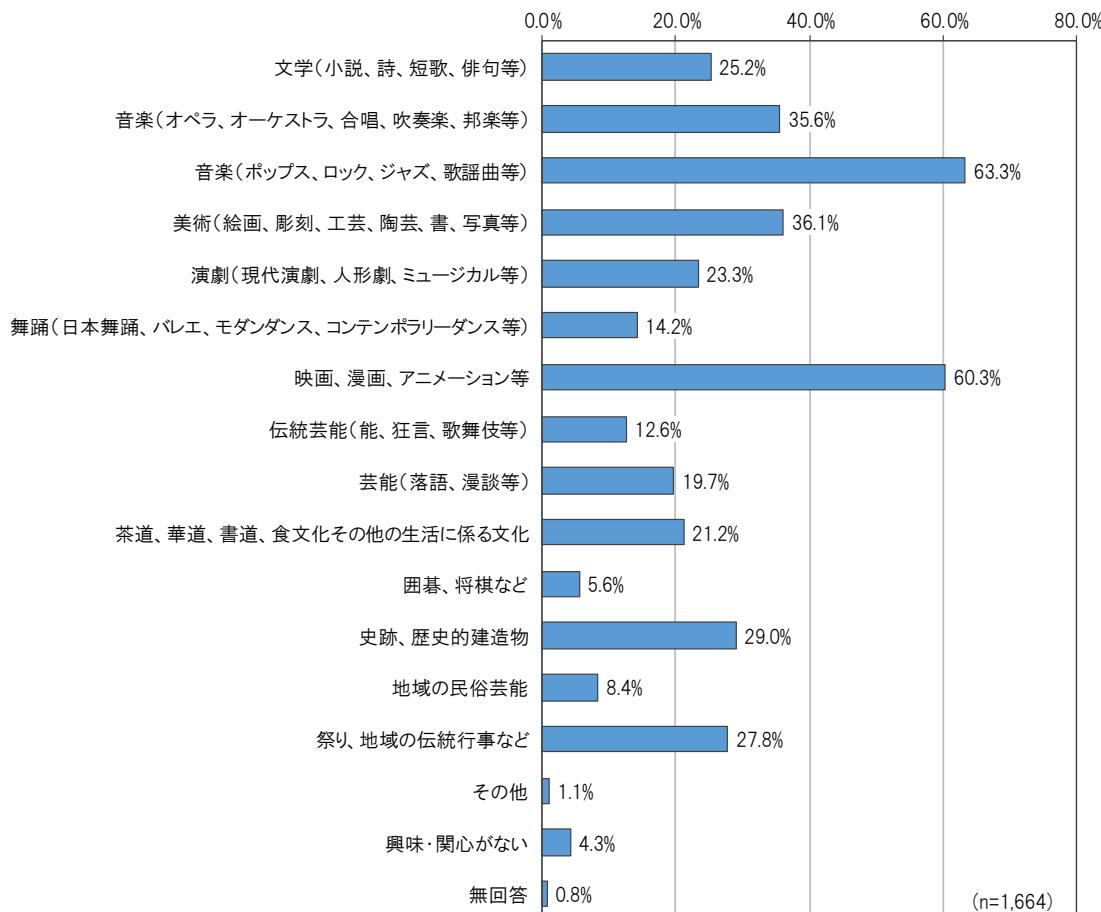
1 文化芸術への興味・関心について

(1) 興味・関心

興味・関心のある文化芸術の分野についてお答えください。(いくつでも) [問4]

～ポップスなどの音楽や「映画、漫画、アニメーション等」に興味がある人が6割以上～

「音楽(ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲等)」が63.3%と最も高く、次いで「映画、漫画、アニメーション等」が60.3%、「美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真等)」が36.1%となっている。



30歳代では「祭り、地域の伝統行事など」への興味が4割を超え、50~70歳代は「美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真等)」への興味が4割を超えており、それぞれ他の年代と比べて多くなっている。

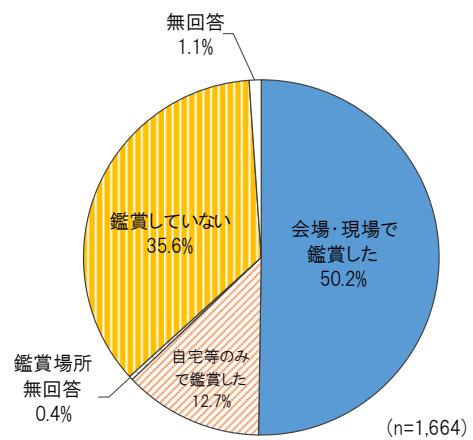
2 文化芸術の鑑賞について

(1) 鑑賞の有無

過去1年間に、文化芸術を会場・現場や自宅等で鑑賞されたことがありますか。(1つだけ) [問6]

～ 約6割の人が文化芸術を鑑賞している～

「会場・現場で鑑賞した」が50.2%と最も高く、次いで「鑑賞していない」が35.6%、「自宅等のみで鑑賞した」が12.7%となっている。



※「会場・現場」…開催会場など現場で実際に鑑賞された場合

※「自宅等」………自宅等（車や電車の中を含む）でテレビやインターネット等を通じて鑑賞された場合

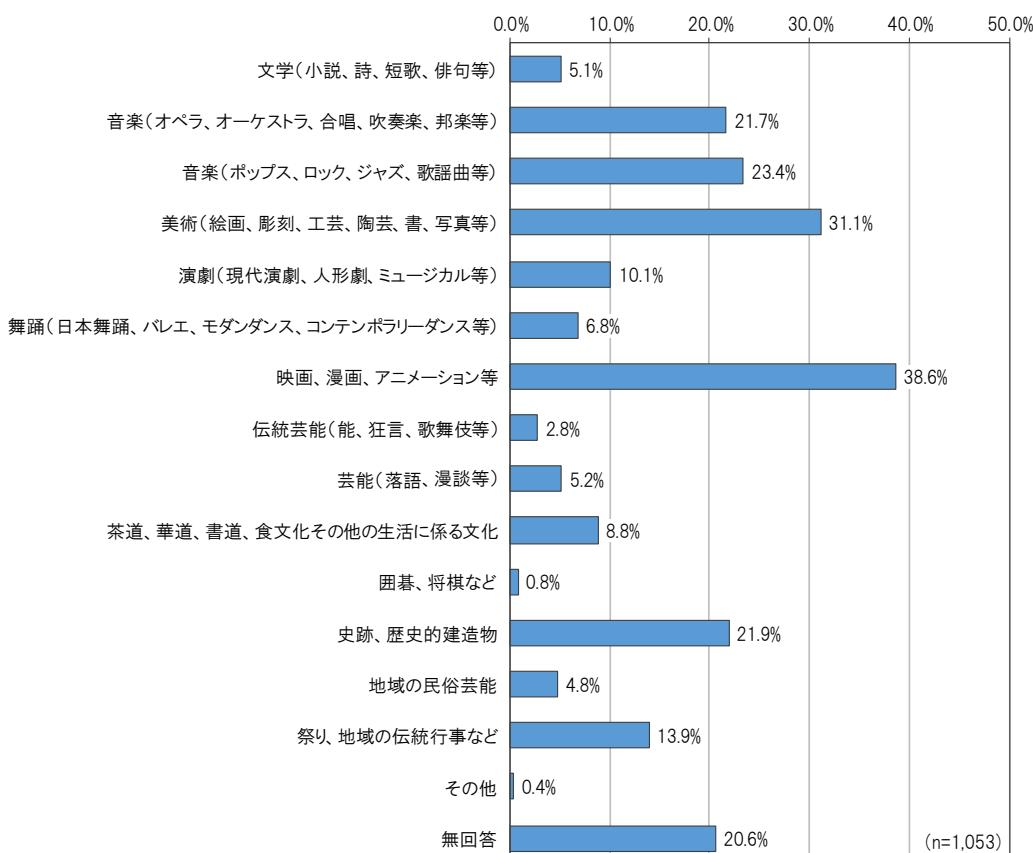
(2) 鑑賞した分野

会場・現場で鑑賞された文化芸術の分野について、あてはまるものすべてお答えください。

(いくつでも) [問7-1]

～「映画、漫画、アニメーション等」を鑑賞した人が多い～

「映画、漫画、アニメーション等」が38.6%と最も高く、次いで「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真等）」が31.1%、「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲等）」が23.4%となっている。



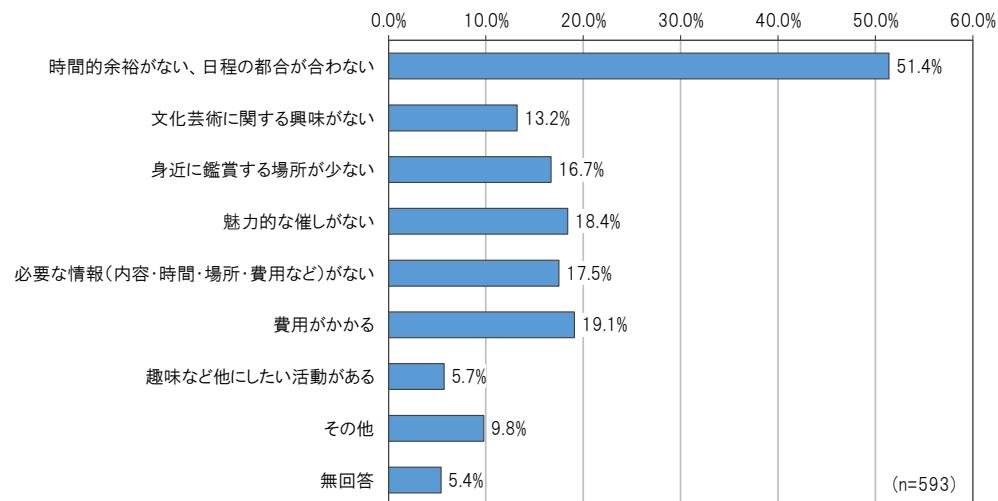
(3) 鑑賞を難しくしている理由

文化芸術の鑑賞を難しくしている理由をお答えください。(いくつでも) [問9]

～「時間的余裕がない、日程の都合が合わない」が理由で鑑賞していない人が半数以上～

「時間的余裕がない、日程の都合が合わない」が 51.4%と最も高く、次いで「費用がかかる」が 19.1%、「魅力的な催しがない」が 18.4%となっている。

「時間的余裕がない、日程の都合が合わない」について、特に 20~40 歳代では 7 割を超えていている。また、「文化芸術に関する興味がない」と回答した割合は、女性より男性が高くなっている。



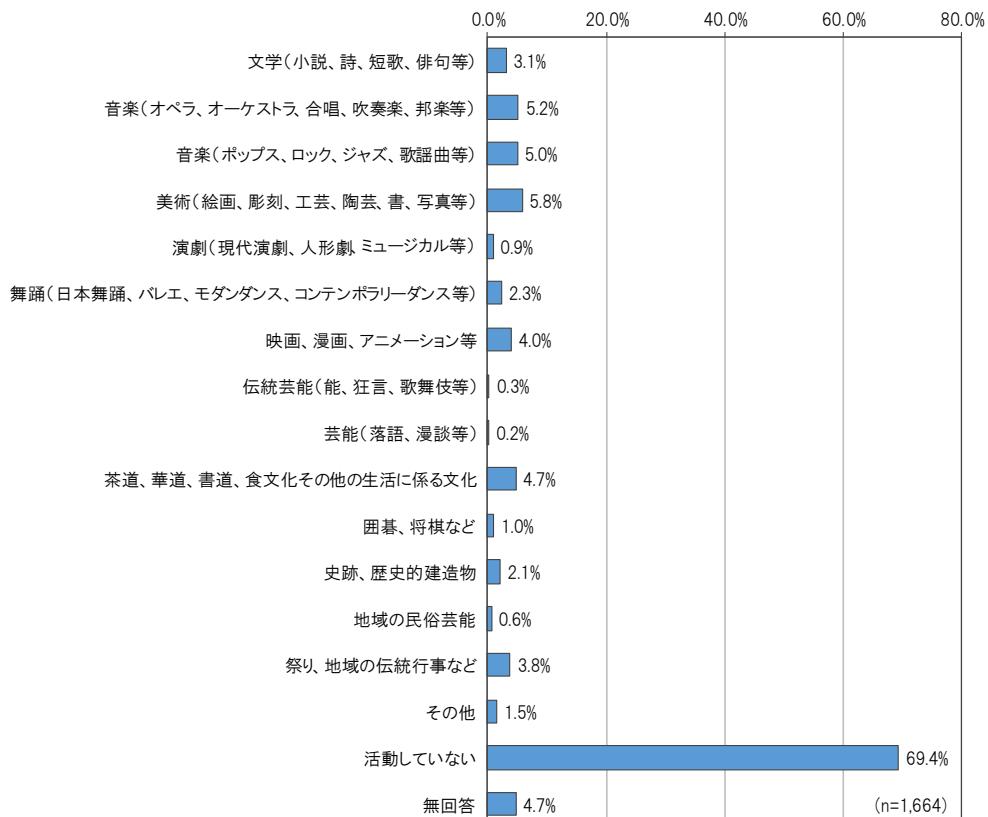
3 文化芸術活動について

(1) 活動の有無

過去 1 年間に、音楽や美術、伝統芸能などの団体に所属したり、講座・教室に通ったり、個人的に取り組んだりするなどして、文化芸術に関する活動をしたことがありますか。あてはまる分野などをお答えください。(いくつでも) [問 11]

～約 7 割が文化芸術に関する活動をしていない～

「活動していない」が 69.4%と最も高く、次いで「美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真等)」が 5.8%、「音楽(オペラ、オーケストラ、合唱、吹奏楽、邦楽等)」が 5.2%となっている。

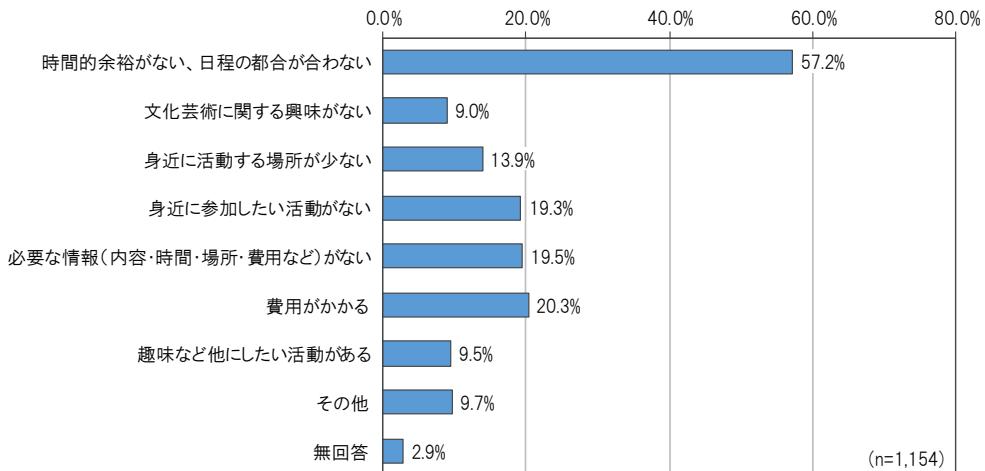


(2) 活動を難しくしている理由

文化芸術に関する活動を難しくしている理由をお答えください。(いくつでも) [問12]

～「時間的余裕がない、日程の都合が合わない」が理由で活動していない人が約6割～

「時間的余裕がない、日程の都合が合わない」が 57.2%と最も高く、次いで「費用がかかる」が 20.3%、「必要な情報（内容・時間・場所・費用など）がない」が 19.5%となっている。



「時間的余裕がない、日程の都合が合わない」について、特に 10 歳代、40 歳代では 7 割を超えており、20 歳代では約 4 割の人が「身近に参加したい活動がない」と回答している。女性は男性に比べて「費用がかかる」と回答した人も比較的多くなっている。

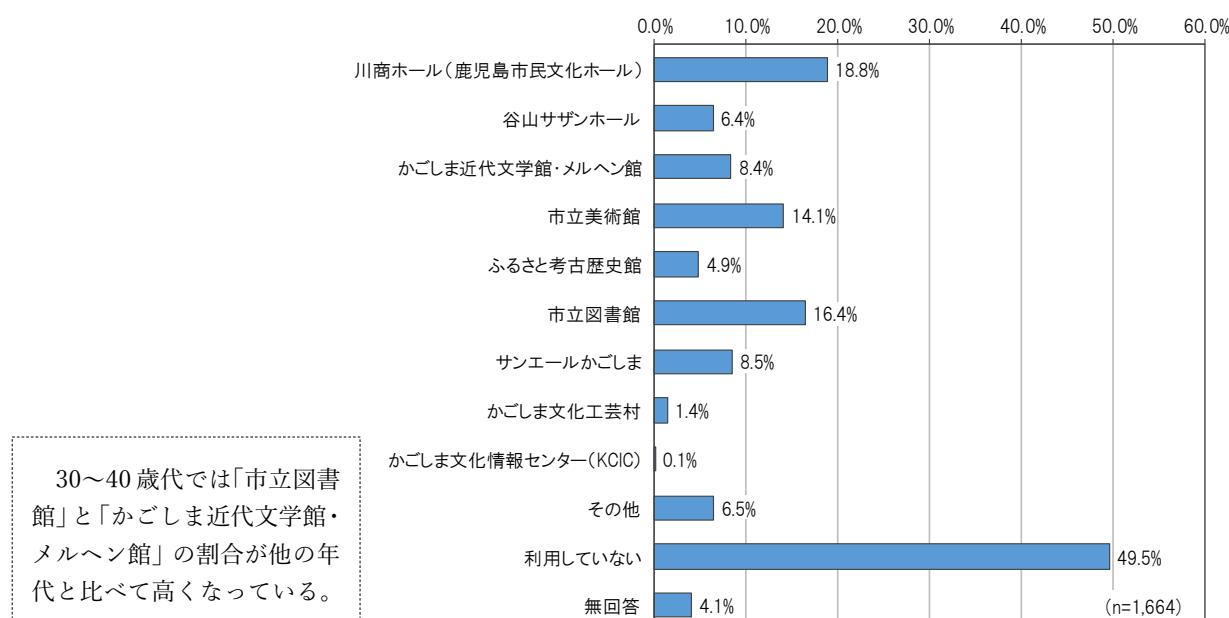
4 文化芸術に関連する施設の利用について

(1) 文化施設利用の有無

過去 1 年間に本市の文化芸術に関する施設を利用したことありますか。(いくつでも) [問14]

～約半数が利用していない。最も利用しているのは「川商ホール（鹿児島市民文化ホール）」～

「利用していない」が 49.5%と最も高く、次いで「川商ホール（鹿児島市民文化ホール）」が 18.8%、「市立図書館」が 16.4%となっている。



5 文化芸術に関する情報の入手について

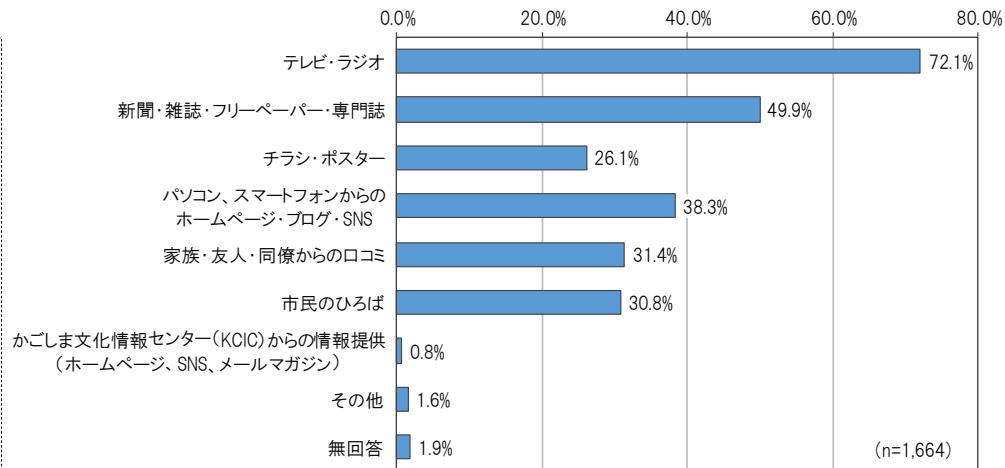
(1) 情報の入手方法

日頃、文化芸術に関する情報をどのように入手していますか。(いくつでも) [問16]

～約7割の人が「テレビ・ラジオ」から情報を入手している～

「テレビ・ラジオ」が72.1%と最も高く、次いで「新聞・雑誌・フリーペーパー・専門誌」が49.9%、「パソコン、スマートフォンからのホームページ・ブログ・SNS」が38.3%となっている。

40歳代以下では「ホームページ・ブログ・SNS」、50歳代以上では「新聞・雑誌・フリーペーパー・専門誌」が約5~6割と多くなっている。また、「市民のひろば」が50~80歳代では3割を超えている。

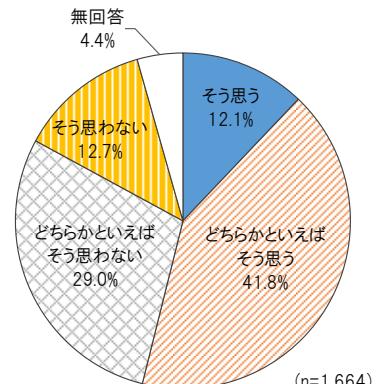


(2) 情報の入手しやすさ

公演や展覧会等の文化芸術に関する情報は入手しやすいですか。(1つだけ) [問17]

～「入手しやすい」が約5割、「入手しにくい」が約4割～

「どちらかといえばそう思う」が41.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が29.0%、「そう思わない」が12.7%となっている。



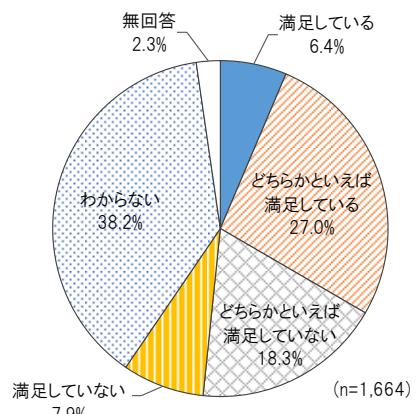
6 文化的環境について

(1) 文化的環境の満足度

本市の文化的環境(例えば、文化施設の整備状況、文化芸術に関する鑑賞の機会、創作に参加する機会など)に満足していますか。(1つだけ) [問18]

～文化的環境に満足している人は約3割～

「わからない」が38.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」が27.0%、「どちらかといえば満足していない」が18.3%となっている。

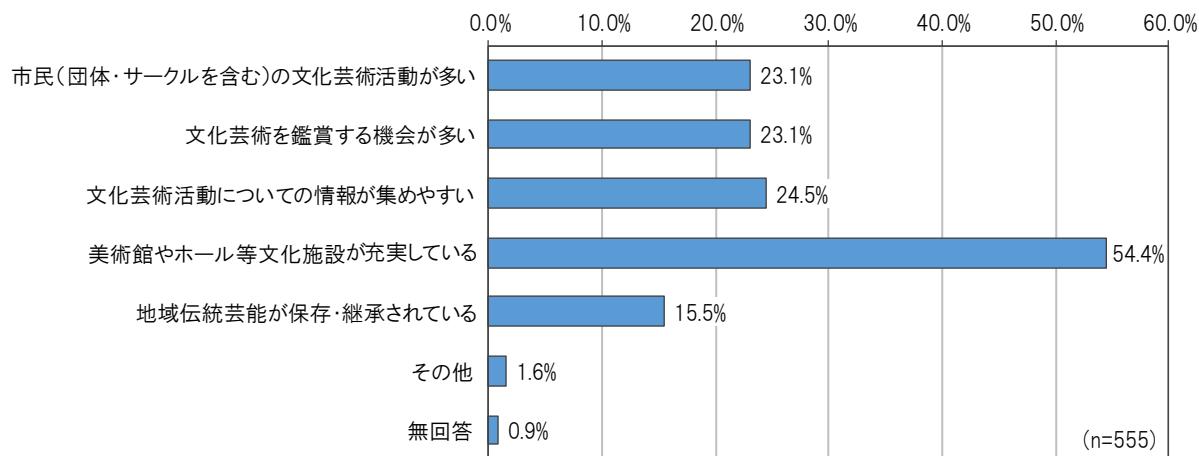


(2) 文化的環境に満足しているところ

本市の文化的環境について満足しているところはどこですか。(いくつでも) [問19]

～満足しているところは「美術館やホール等文化施設が充実している」が最も多い～

「美術館やホール等文化施設が充実している」が 54.4%と最も高く、次いで「文化芸術活動についての情報が集めやすい」が 24.5%、「市民（団体・サークルを含む）の文化芸術活動が多い」、「文化芸術を鑑賞する機会が多い」が 23.1%となっている。

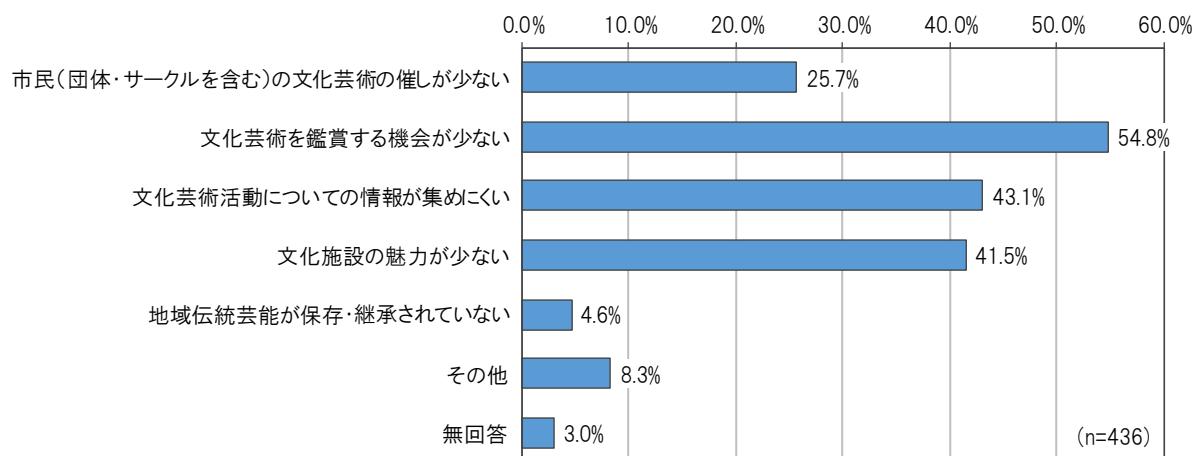


(3) 文化的環境に満足していないところ

本市の文化的環境について満足していないところはどこですか。(いくつでも) [問20]

～満足していないところは「文化芸術を鑑賞する機会が少ない」が最も多い～

「文化芸術を鑑賞する機会が少ない」が 54.8%と最も高く、次いで「文化芸術活動についての情報が集めにくい」が 43.1%、「文化施設の魅力が少ない」が 41.5%となっている。



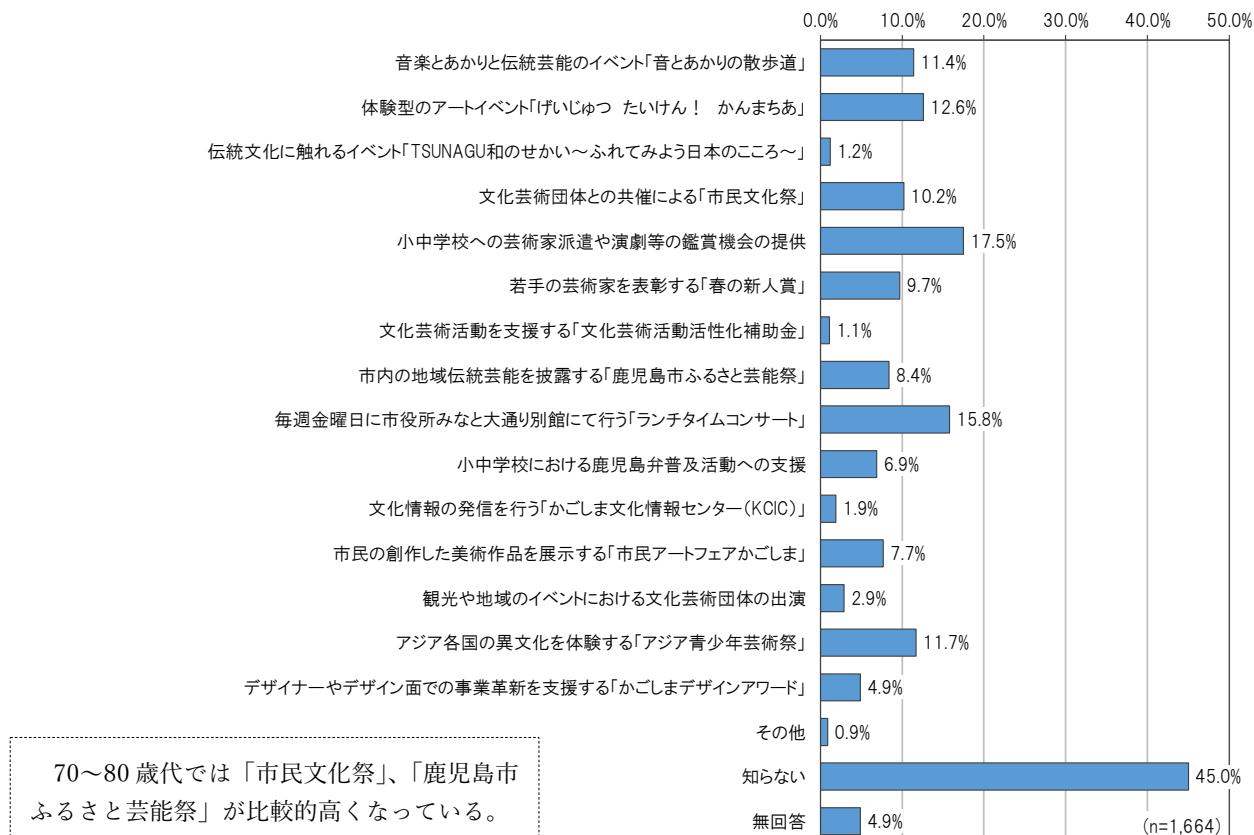
7 鹿児島市の取組について

(1) 市の文化芸術の取組の認知度

本市では、平成29年に「第2期文化薫る地域の魅力づくりプラン」を策定し、「美術」「音楽」「地域伝統芸能」の分野を中心に文化振興を通じた元気な地域づくり・人づくりを進めているほか、文化芸術に関する様々な事業を実施していますが、これらの取組について知っていますか。(いくつでも) [問21]

～ 約半数が市の文化芸術の取組を知らない～

「知らない」が45.0%と最も高く、次いで「小中学校への芸術家派遣や演劇等の鑑賞機会の提供」が17.5%、「毎週金曜日に市役所みなと大通り別館にて行う「ランチタイムコンサート」」が15.8%となっている。



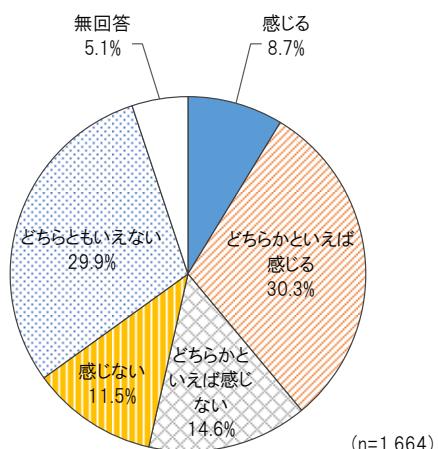
(2) まちの魅力の高まりを感じる割合

本市の文化芸術に関する取組を通じて、心の豊かさを実感したり、まちへの愛着・誇りが醸成されるなど、まちの魅力が高まっていると感じますか。(1つだけ) [問22]

～ 約4割の人が高まっていると感じている～

「どちらかといえば感じる」が30.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が29.9%、「どちらかといえば感じない」が14.6%となっている。

若い人ほど高まっていると感じている傾向がみられる。

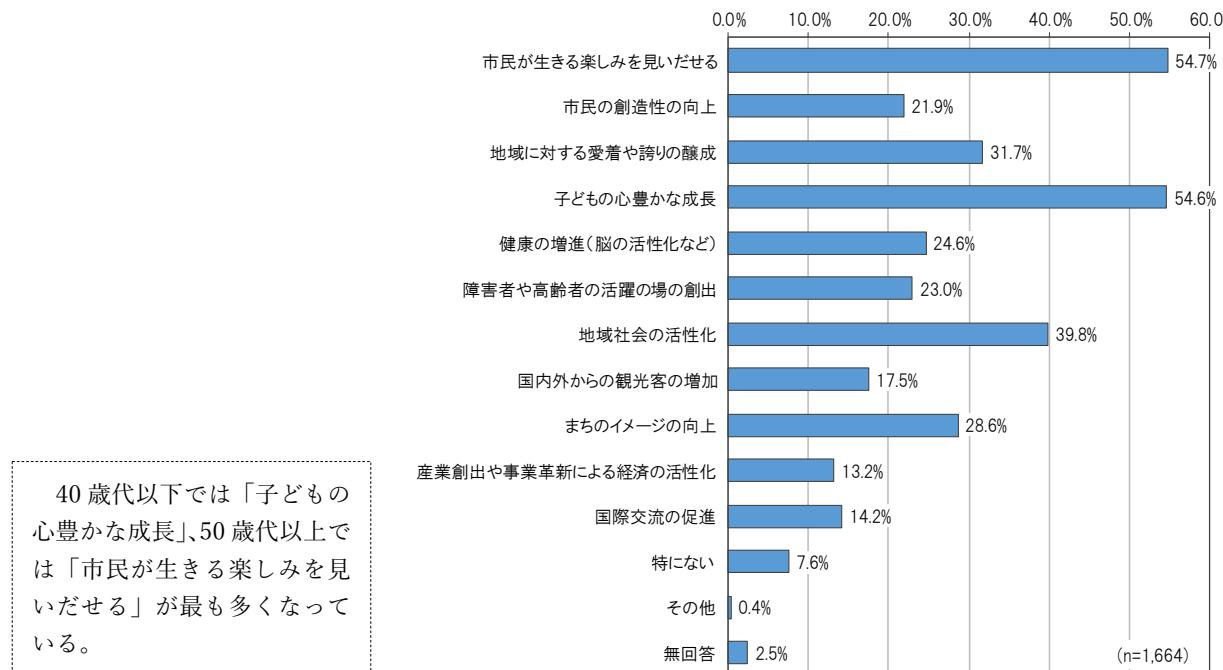


(3) 社会にもたらされる効果

本市において、文化芸術の振興が図られることにより社会にもたらされる効果としてどのようなことを期待しますか。(いくつでも) [問23]

～半数以上の人人が生きる楽しみや子どもの心豊かな成長に期待している～

「市民が生きる楽しみを見いだせる」が54.7%と最も高く、次いで「子どもの心豊かな成長」が54.6%、「地域社会の活性化」が39.8%となっている。

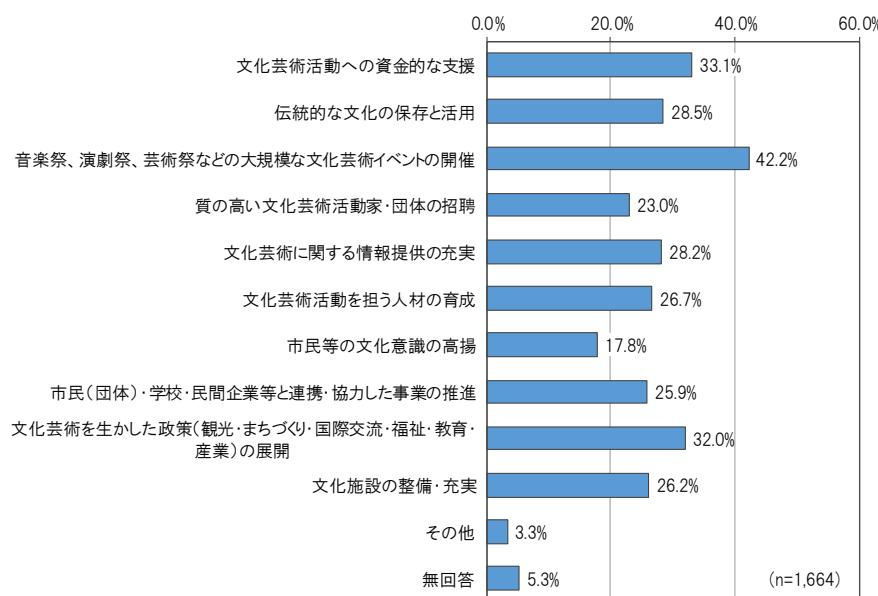


(4) 本市で必要な取組

文化芸術を生かしたまちづくりを行うために、本市でどのような取組が必要であると考えますか。(いくつでも) [問24]

～大規模イベントの開催や活動への資金的な支援などが多い～

「音楽祭、演劇祭、芸術祭などの大規模な文化芸術イベントの開催」が42.2%と最も高く、次いで「文化芸術活動への資金的な支援」が33.1%、「文化芸術を生かした政策（観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業）の展開」が32.0%となっている。



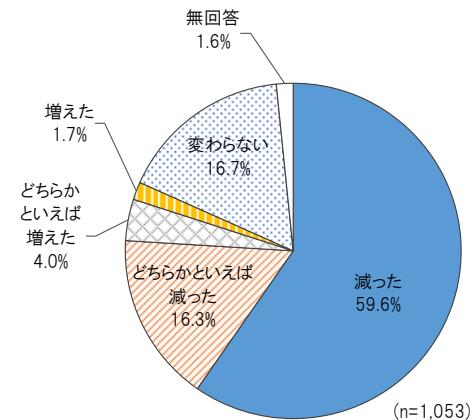
8 新型コロナウイルス感染症の文化芸術への影響について

(1) 鑑賞へのコロナ影響

新型コロナウイルス感染症の影響により文化芸術を鑑賞する頻度に変化がありましたか。(1つだけ)
[問10]

～ 鑑賞頻度が減った人は約8割～

「減った」が 59.6%と最も高く、次いで「変わらない」が 16.7%、「どちらかといえば減った」が 16.3%となっている。

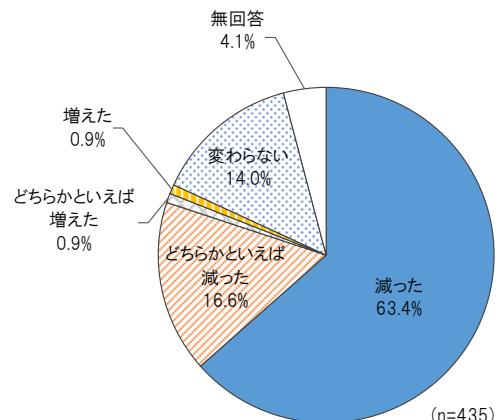


(2) 活動へのコロナ影響

新型コロナウイルス感染症の影響により活動する頻度に変化がありましたか。(1つだけ) [問13]

～ 活動頻度が減った人は約8割～

「減った」が 63.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば減った」が 16.6%、「変わらない」が 14.0%となっている。

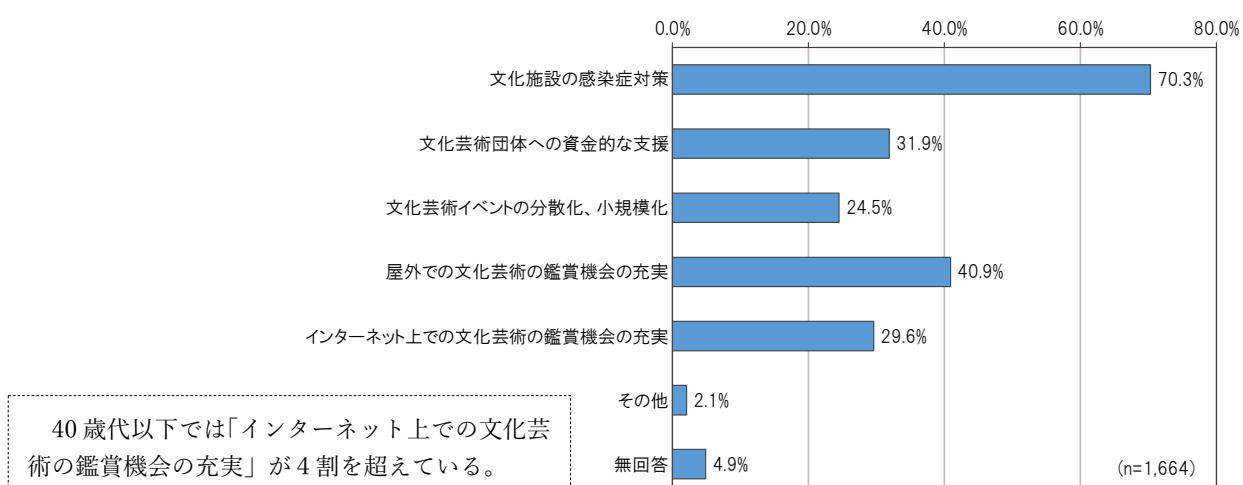


(3) コロナ禍における活動等の継続に必要なこと

現状のコロナ禍において、文化芸術を鑑賞したり、文化芸術活動を継続したりするためにはどのようなことが必要であると考えますか。(いくつでも) [問25]

～文化施設の感染症対策や屋外での鑑賞機会の充実が必要と考えている人が多い～

「文化施設の感染症対策」が 70.3%と最も高く、次いで「屋外での文化芸術の鑑賞機会の充実」が 40.9%、「文化芸術団体への資金的な支援」が 31.9%となっている。



文化芸術に関する市民意識調査
調査結果報告書 <概要版>

令和3年3月

鹿児島市市民局市民文化部文化振興課

TEL : 099-216-1501

FAX : 099-216-1128